## かかるまえにできること

ワクチンで
予防できる感染症は、
早めに予防接種を
受けておきましょう！

手洗いを
しっかりしましょう！
（15秒以上）

食事や睡眠を
しっかりとり、
規則正しい生活を
こころがけましょう！

## こどもが受けられる主なワクチン

- DPT（3種混合）
- 日本脳炎
- MR（麻しん風しん混合）
- BCG
- ポリオ
- みずぼうそう
- インフルエンザ
- おたふくかぜ
- 小児用肺炎球菌
- Hib（インフルエンザ菌b型）
- HPV（ヒトパピローマウイルス）
- B型肝炎
- ロタウイルス

# 集団生活をはじめる前に

かかりやすい感染症について

ミニ知識

監修：独立行政法人国立病院機構 三重病院
院長 庵原 俊昭 先生

## 集団生活をはじめる前に

こどもと感染症は、きってもきれない関係です。
集団生活をはじめる前のこどもは抵抗力を持っておらず、
集団生活がはじまると様々な病原体にさらされ、
病気にかかりやすくなります。
また、感染症のなかには、
学校保健安全法施行規則により出席停止となる病気もあります。
そのため、集団生活をはじめる前に、
予防できるものは可能なかぎり予防接種を心がけましょう。
気になることがあれば、かかりつけの小児科医にご相談ください。

## あるある！こどもと感染症 ～ タローくんが回復！ ～

### 先生からのコメント

ある程度病状がよくなっても、
まだ感染力があればほかの子どもに
うつしてしまうことがあります。
できればお医者さんに
確認してから登園しましょう。

## 登場人物紹介

**タローくん**
青空保育園に通う
マイペースな男の子。

**ママ**
育児と仕事を両立する
明るいママ。
仕事復帰するも予想外な
出来事に日々奮闘中！

**はなちゃん**
タローくんと
同じ保育園に通う女の子。
タローくんのことが好き。

**よしこ先生**
タローくんの先生。
いつも笑顔で
園児の人気者。

**ベビーシッターさん**
ママが忙しいときに
タローくんの面倒を
みてくれる
経験豊富な助っ人。

**かかりつけの先生**
病気を
くわしく解説してくれる
小児科のやさしい先生。

この内容は一般事例であり、気になることがあればかかりつけ医にご相談ください。

田辺三菱製薬
2012年2月作成

## あるある！こどもと感染症 ～ タローくん保育園デビュー ～

### 先生からのコメント

1歳から3歳までは、年間に10回ほど
カゼをひくといわれています。また、幼い頃は
体力もなく、疲れたり、興奮しただけでも
熱が出ることもあり、毎月熱を出すことも
珍しくありません。幼稚園や保育所に
通い始めた頃は
体調も崩しやすくなりますので、
お子様の体調を十分に
観察してあげましょう。

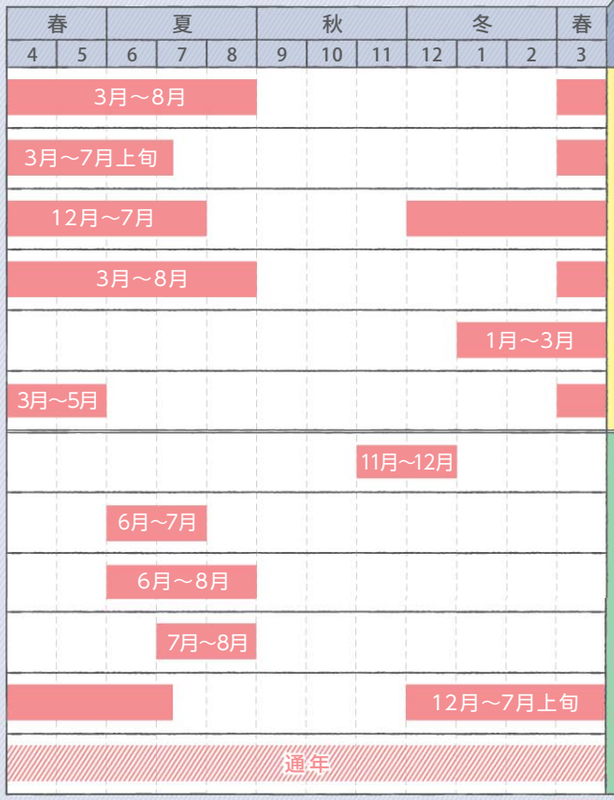
## あるある！こどもと感染症 ～ タローくんみずぼうそうになるも･･･ ～

### 先生からのコメント

多くの感染症は、
周囲の人に病気をうつしてしまいます。
まわりの人には配慮が必要です。
ワクチンで防げる病気は
予防接種で予防して
あげてください。

## 感染症がはやる季節

こどもがかかりやすい 感染症には、
流行しやすい季節があります。




注：一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。　ピーク時

## 感染症の特徴

| 感染症名 | かかりやすい年齢 | 潜伏期間* | 一般的な症状・日数 | 治るまでの期間（めやす） | ポイント |
|---|---|---|---|---|---|
| 予防接種あり 麻しん（はしか） | 2歳以下 | 9～12日 | 感染するおそれのある期間／発熱／鼻水・せき・目の充血／全身に赤い発しん | 10日 | 感染力が極めて強く重い病気で、昔は「命さだめ」と言われたほどです。1歳になったらなるべく早く麻しん風しん混合（MR）ワクチンを受けるように努めましょう。 |
| 予防接種あり 風しん（三日ばしか） | 1～9歳 | 14～21日 | 感染するおそれのある期間／リンパ節のはれ／発熱・全身に赤い発しん | 5日 | 「三日ばしか」と呼ばれることがあります。免疫のない妊婦がかかると先天性心疾患や難聴などの障害をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。現在は、麻しん風しん混合（MR）ワクチンで予防できます。 |
| 予防接種あり みずぼうそう | 1～5歳 | 13～21日 | 感染するおそれのある期間／発熱／発しん（紅斑→水疱→膿疱→かさぶた） | 10日 | かゆみの強い水疱ができ、かきむしると傷口から細菌感染し、あとが残ったりします。発しんがかさぶたになるまではうつすので外出は控えましょう。1歳を過ぎたら予防接種を受けましょう。 |
| 予防接種あり おたふくかぜ | 1～6歳 | 11～27日 | 感染するおそれのある期間／発熱／耳下腺のはれ | 7日 | 耳の後ろにある唾液腺が炎症を起こします。痛みがひどい場合は、冷やすと和らぎます。無菌性髄膜炎を合併すると、頭痛や嘔吐、発熱などの症状が出ます。1歳を過ぎたら予防接種を受けましょう。 |
| 予防接種あり インフルエンザ | あらゆる年齢 | 1～5日 | 感染するおそれのある期間／発熱・関節痛・全身倦怠感／せき・鼻水・のどの痛み | 7日 | 飛沫感染で感染します。毎年冬に大規模な流行がみられますので、流行前に家族全員でワクチンを受けましょう。 |
| 予防接種あり 感染性胃腸炎（ロタ） | 2歳以下 | 2～4日 | 感染するおそれのある期間／腹痛・嘔吐・発熱・下痢・白い便 | 7日 | 下痢、嘔吐を主徴とする胃腸炎です。感染経路は主として感染患者からの糞口感染であり、白色の下痢便が特徴です。症状が回復しても10日間程度ウイルスが便中へ排泄されます。脱水症状を起こしやすいので、こまめに水分補給をしてあげましょう。 |
| 予防接種なし 感染性胃腸炎（ノロ） | 1～12歳 | 1～3日 | 嘔吐・下痢・発熱・腹痛 | 3日 | 下痢、嘔吐を主徴とする胃腸炎です。感染経路は主として感染患者からの糞口感染であり、症状が回復しても7日間程度ウイルスが便中へ排泄されます。二次感染を防ぐためにも、手洗いを徹底しましょう。 |
| 予防接種なし ヘルパンギーナ | 4歳以下 | 2～4日 | 発熱／のどに水疱性発しん | 7日 | 高熱が出て、のどの奥や口蓋に水疱ができる夏かぜの一種です。水疱が破れると痛みを伴うので、脱水症状や食欲不振になりやすいため、水分補給を心がけましょう。 |
| 予防接種なし 手足口病 | 4歳以下 | 3～5日 | 発熱／口の中の粘膜・てのひら・足底などに水疱性発しん | 5日 | 発熱とほぼ同時に、てのひら、足の裏、頬の内側の粘膜に盛り上がった水疱性の発しんができます。食事は酸味や塩分が少なく、のどごしがよいものを食べさせましょう。 |
| 予防接種なし プール熱（咽頭結膜熱） | 5歳以下 | 5～7日 | 発熱・のどの痛み（咽頭炎）／目の充血（結膜炎） | 5日 | 夏かぜの一種で、高熱が出てのどが腫れ、目が充血します。プール遊びのときに感染することが多く、また、感染者と同じタオルを使うことでもうつります。 |
| 予防接種なし 溶連菌感染症 | 5～10歳 | 2～5日 | 発熱・のどの痛み（咽頭炎・扁桃炎）／発しん・苺のような赤い舌／皮膚がめくれる（21日まで） | 21日 | 高熱とのどの痛み、発しんやいちご舌（舌にいちごのような真っ赤なブツブツができる）が特徴です。有効な抗菌薬を使えば1～2日で発熱やのどの痛み、発しんが消えていきます。 |
| 予防接種なし 突発性発しん | 2歳以下 | 約10日 | 発熱／赤い発しん | 6日 | 生まれてから初めての高熱という場合が多いです。高熱が3～4日続き、解熱後に赤い小さな発しんが全身に広がります。発熱したときは、まず受診しましょう。 |

＊潜伏期間：病気に 感染してから、体に症状が出るまでの期間のこと。

※学校保健 安全法施行規則、米国小児科学会（AAP）による感染症罹患時の就業制限を参考にして監修した。